



田んぼの感触を楽しみながら

町内小学校で田植え体験学習が行われました

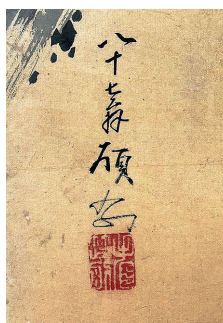
6月11日、川角小学校と光山小学校の子どもたちによる田植えが行われました。田んぼに入る時は緊張気味な表情でしたが、次第に慣れてくると笑顔も溢れ、泥んこになりながら一生懸命、苗を植えていました。



碩布の屏風が故郷毛呂山へ

郷土の偉人・川村碩布の作品が寄贈されました

ときがわ町にある皎圓寺の柳瀬寛洲住職より、川村碩布画の「梅の図」の屏風が寄贈されました。川村碩布は毛呂本郷出身で、江戸時代の埼玉を代表する俳人です。屏風は六枚の図からなり、碩布87歳の迫力のある作品に圧倒されます。



美味しいビールを作りたい

町内に新たなブルワリーが誕生

毛呂山町岩井東地内に、発泡酒を製造する「ウィンターランドブルワリー合同会社」が設立されました。6月5日に川越税務署から製造免許が交付され、本格的に醸造が始まりました。代表者の「毛呂山町に地域貢献したい」という思いから、この地に醸造場を設立。今後は、毛呂山町の特産品である「桂木ゆず」などを使った発泡酒の製造も予定しているとのこと。

井上町長が全国町村会副会長に就任されました

埼玉県町村会長を務める井上健次町長が6月17日に開かれた全国町村会の選任協議によって、全国町村会副会長に就任されました。



全国町村会は47都道府県におけるそれぞれの町村会長47人で構成されており、全国の町村に共通する行政課題の解決のために各省庁、政党、国会議員に対して要望活動などの働きかけを行っています。

地域の皆さんのご協力のもと

マリーゴールドを定植しました

6月13日に毛呂山町コミュニティ協議会「花いっぱい運動推進部会」で、町内3路線の花壇に「マリーゴールド」を定植しました。花は、町民の皆さんや毛呂山町を訪れる人を癒します。また、この活動を通し、環境美化や防犯のまちづくりにつながっています。



いつまでも健口で健幸な生活を

8020よい歯のコンクールで、毛呂山町から
関谷喜郎さん、上村長次さんの2人が表彰されました

健康なお口を保つ秘訣を伺うと、関谷さんは歯磨きをしっかりとすること、上村さんは細くなるまでよく噛むこと、1日3回の歯磨きが大切だと教えてくださいました。

健幸は健口から！毎日の歯みがきと定期的な歯科健診で、80歳になっても自分の歯を20本以上残すことを目指しましょう！



写真左から関谷喜郎さん、上村長次さん

「宝くじ」の助成金で整備

西大久保自治会でコミュニティ活動備品を購入しました

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献事業として、宝くじの受託事業収入を財源としてコミュニティ助成事業を実施しています。西大久保自治会では、この「宝くじ助成金」を活用し、地区のイベントで大活躍するワンタッチテント6基と、広い敷地の手入れに欠かせない自走式草刈り機を購入しました。新しい備品を積極的に活用し、地域のコミュニティ活動の更なる活性化が期待されます。



地域の防災力向上のために

西入間支部消防ポンプ操法大会・訓練報告会

6月21日、毛呂山総合公園で西入間支部消防ポンプ操法大会・訓練報告会が開催されました。操法大会では毛呂山消防団第4分団が小型ポンプの部に出場し、準優勝という成績を収めました。また、今年から建物火災を想定した消火活動を披露する「訓練報告会」も行われ、第1分団、第2分団、第3分団、第5分団が出場しました。



安全で安心な地域社会のために

社会を明るくする運動が行われました

7月1日、毛呂山町の保護司会・更生保護女性会が中心となり、「社会を明るくする運動」が行われました。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な取組です。当日は、町内の各小中学校に出向き、情報交換会を開催。教育現場における課題などの情報共有をおこないました。

